

小さいつゞらをいたゞきませう

皆さんさよなら御機嫌よう

さよなら〜おさいさま

又お遊びにいらつしやい

ごつこいしよ ごつこいしよ

すゞめのおみやは 何でせう

ゾク〜出て来た寶物

金銀 さんご あやにしき

キラキラ光つてきれいだな

心のやさしいおぢいさま

おめでたう おめでたう

このこさばは實習科生四人が作つたものであり、ふしは私がおのこさばに合はせて、ただ自然のメロディをあらはしたにすぎない。音楽ではない。曲にはなつてゐない。ふだんの會話の波を五線上にあらはしてみたゞけのものである。何かの御参考までに、さも言へないものである。たゞ小さなおへやでの一つのおそびを、カーテンのすき間からちよつとのおのぞき下さいませ。

## 雨の日

倉橋惣三

○雨の日は幼稚園の禁物と決つて居たりするが、さう嫌つてばかり居ても仕方がない。雨の日は雨の日にらしい一日がもてないものだらうか。

○一年三百六十五日、雨の日は此外とばかりも言はれない。北緯何度、温帯の國として、殊には支那大陸の方の關係から、毎年のごとに昔から決つて居る梅雨と言ふものを、毎年新しい特別のごとの様に入思へばかりも居られまい。

○傘があり、足駄があり、合羽がある。幼稚園の保育にも雨の日の用意は、ちやんと初めから出來ていゝものであるまいか。殊に子供の方では、大人が屈托する程に雨の日を困るものでもない。それを子供にもちあぐませるのは、吾等の方に用意が足りないせいではあるまいか。

○雨日またよしと茶人めき詩人ぶる譯ではないが、うす暗い室に聴くあまたれの音、窓硝子の外に見る桐の雨、なかなか捨て難い趣のあるものでもある。それが子供には又子供らしく、おもしろい印象のあつたりするものである。やゝ、しんみりとしたお話、しづかなお客さまごつこ、或は部屋のうちす暗さを利用した影繪、幻燈、人形芝居も興があらう。

○雨のいろ〜には、それ相應の違つた味もあり、趣きもある。それにふさはしい題目もいくらもあらう。雨の日の雨ものがたり、源氏ではないが、いゝ一巻の保育日誌をつくつて見るのもよからう。

「幼稚園雜草」より